

令和4年度

奈良教育大学大学院教育学研究科

専門職学位課程(教職大学院)

[学外特別選抜]

学生募集要項

[11月募集]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、本要項に記載している選抜方法等を変更する場合があります。変更する場合は、可能な限り速やかに本学ホームページで公表します。

なお、出願等にあたっては、必ず本学ホームページにて最新情報を確認するようにしてください。

奈良教育大学ホームページ : <https://www.nara-edu.ac.jp/>

募集区分	出願期間	試験期日	合格発表
11月募集 [学外特別選抜]	令和3年10月15日(金)～ 令和3年10月21日(木)	令和3年11月6日(土)	令和3年11月25日(木)

奈良教育大学

目 次

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	1
教育課程編成実施方針(カリキュラム・ポリシー)	1
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)	1
1. 専攻、入学定員及び募集人員	2
2. 標準修業年限	2
3. 出願資格	2
4. 出願手続	3
5. 受験票の送付	4
6. 選抜方法	5
7. その他の留意事項	5
8. 合格者の発表	6
9. 入学手続	6
10. 入学料及び授業料	6
11. 小学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース)	7
12. 特別支援学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース)	8
13. 長期履修学生制度について	8
14. 修了要件、履修方法等について	8
15. 担当教員研究分野一覧表	10
16. 個人情報の利用について	11
17. 障害等を有する志願者との事前相談について	11
18. 過去の入試問題の閲覧について	12
19. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について	12

【重要】令和4年度入試の主な変更点等は以下のとおりです。

令和4年4月に「新たな大学院教育学研究科「専門職学位課程(教職大学院)」及び「修士課程」(以下「新組織」という。)」の設置を計画しています。

現在、設置計画申請中(計画が変更となる場合があります。)で、設置が認められた場合は、令和4年度入学者は新組織に所属することとなりますが、令和4年度入試は、本募集要項に基づき、令和3年度入試と同様の選抜方法等で実施します。

なお、出願に当たっては、新組織の設置が認められた場合、入学時に当該新組織に所属することについての同意書及び入学後に希望する履修上のコースに係る調書の提出が必要となります。

現行の組織から新組織への移行、新たな教育課程の概要等の詳細については、別添資料を必ず確認してください。

ただし、新組織の設置が認可されなかった場合は、現行組織において志願者が志望した専攻、専修の学生として受け入れることとなります。

令和4年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者(小学校及び特別支援学校に限る。)を対象とした「選抜方法の特例」による受験を希望する場合は「一般選抜(11月募集)」で受験してください。

教育学研究科の特徴

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学研究を深めることによって、豊かな人間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

専門職学位課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ人を求めます。

● 学部・大学院出身者

授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関心があり、より実践的な専門性を培い、教職に関する高度な実践力を身につけたいという目的を持つ人

● 現職教員

学級・学校経営や教育行政、授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育における様々な課題を解決するために、より高度な実践力を身に付け、学校や地域において指導的役割を果たしたいという目的を持つ人

入学者選抜の基本方針

教育学研究科は、本学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、筆記試験、口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜します。

【教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

専門職学位課程においては、以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

1. 共通科目では、学校教育の基本となる課題について理論と実践の往還を通して学び、それに対応できる実践的力量を育みます。
2. 実習科目では、学校現場で課題を探究し、その課題を解決できる実践的力量を育みます。
3. 演習科目では、実践を対象とする研究や省察のための力量を育みます。
4. 研究科目では、理論と実践を架橋させ、自らの課題を解決する研究的力量を育みます。
5. 現代的教育課題科目では、喫緊の教育課題や教育の現状を理解し、それに対応できる実践的力量を育みます。
6. 課題研究及び学位研究報告書作成では、自ら探究した教育課題を解決するために実践を通して研究する力量と、研究の成果や在学中の学び・身につけた力量を省察してまとめることのできる力量とともに、学び続ける態度を育みます。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

専門職学位課程においては、教育実践に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位研究報告書の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 学校教育における諸課題に対し、俯瞰的な視点を持って組織的に解決できる力量
2. 専門的知見と高度な実践的指導力を生かし、新しい学校づくりの有力な一員となり得る力量
3. 学習指導、生徒指導、特別な支援を必要とする子どもに対する指導を一体化させて個に応じた指導ができる力量

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	入学定員	募集人員				選 抜 区 分	
		7月募集	9月募集	11月募集	2月募集		
教職開発	25名	・学校組織マネジメントコース ・学習指導コース ・生徒指導コース ・特別支援教育コース				25名	① 一般選抜 ② 現職教員特別選抜 ③ 社会人特別選抜 ④ 学外特別選抜(推薦入試) ⑤ 連携大学特別選抜(推薦入試) ⑥ 学内特別選抜(推薦入試)

※7月募集、9月募集、11月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。

2. 標準修業年限 2年

ただし、教員免許状を有していない入学者及び小学校以外の校種の教員免許状を有し修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする入学者については、「小学校教員免許取得プログラム」によって、小学校教諭一種免許状に必要な科目を修得し大学院の教育課程を履修することになりますので、標準修業年限は3年又は4年となります。

また、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者については、「特別支援学校教員免許取得プログラム」によって特別支援学校教諭一種免許状を取得した上で、大学院の教育課程を履修することになりますので、標準修業年限は3年となります。

詳細については、7頁の「小学校教員免許取得プログラムについて」又は8頁の「特別支援学校教員免許取得プログラムについて」を参照の上出願してください。

なお、疾病等による通学困難者を対象とした「長期履修学生制度」が適用された場合の修業年限は、標準修業年限に2年以内の年数を加えて許可された期間となります。詳細については、8頁の「長期履修学生制度について」を参照してください。

3. 出願資格

学外特別選抜（推薦入試）に出願できる者は、次の要件を満たす者とします。

- (1) 出願時点において、令和4年3月に大学卒業見込の者
- (2) 幼稚園、小学校、中学校、又は高等学校一種免許状を取得した者又は令和4年3月までに取得見込の者
- (3) 奈良県内の教員を強く志望し、学長等から適性があると推薦された者
- (4) 合格した場合は入学を確約できる者

※一般選抜と特別選抜の併願はできません。

※学外特別選抜の被推薦者と同一の者が、連携大学特別選抜に併願することはできません。

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 353円分の郵便切手 を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③	検 定 料 (30,000円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、志願者の負担とします。(注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。
④	卒業見込証明書又は 修了(見込)証明書	全 員	所属大学長又は学部長が作成したものを提出してください。 (※備考を参照のこと)
⑤	成 績 証 明 書	全 員	所属大学長又は学部長が作成したものを提出してください。 (※備考を参照のこと)
⑥	教育職員免許状(写) 又は取得見込証明書	全 員	免許状の写、授与証明書又は取得見込証明書を提出してください。
⑦	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑧	入学に関する同意書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
⑨	入学後の履修コース に関する希望調書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
⑩	推 薦 書	④学外特別選 抜(推薦入試) に出願する者	所定の用紙により、所属大学長(学部長)が作成し、 厳封したも の を提出してください。
⑪	志 望 理 由 書	④学外特別選 抜(推薦入試) に出願する者	所定の用紙に本人が記入し、署名してください。
⑫	住 民 票 の 写 し 等	日本国に居住 している外国人 (永住許可者は対象外)	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。

(注) 婚姻等により改姓し、証明書類等の氏名と異なっている場合は、それを証明する書類(戸籍抄本等)を添付してください。

(備考)

- ① 卒業(修了)証明書又は見込証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。
- ② 証明書類等は、上記表中に指定のない限り、原本(オリジナル)を提出してください。
- ③ 公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、次の出願期間中に提出してください。郵送による場合は、この要項に添付した出願用封筒を用い『簡易書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[11月募集]

令和3年10月15日（金）から令和3年10月21日（木）まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。（正午～午後1時を除く。）

（郵送の場合は、10月21日（木）までの消印のあるものを有効とします。）

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課（〒630-8528 奈良市高畑町）

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - ア．検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - イ．検定料を誤って二重に払い込んだ場合なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が令和3年11月1日（月）までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

- (2) 受験及び入学手続に受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、提出書類の審査と学力検査〔口述試験（A・B・C評価）、筆記試験（小論文）（100点満点）〕によって行います。

試験科目及び試験時間は次のとおりです。なお、当日は試験についての留意事項を説明しますので、必ず8時40分までに集合してください。集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

(1) 学力検査日

〔11月募集〕 令和3年11月6日（土）【学外特別選抜】

(2) 学力検査場

奈良教育大学（奈良市高畑町）

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町（奈良教育大学）』下車（裏表紙参照）

(3) 学力検査時間割

学外特別選抜

試験は、次により口述試験及び筆記試験（小論文）を行います。

専 攻	時 間	試験科目（配点等）
教 職 開 発	9:00～	口述試験（A・B・C評価）
	口述試験終了後	筆記試験（小論文）（100点、90分）

(4) 学力検査の概要

- ・口述試験 … 当日与えられたテーマについてのグループ討論（活動を含む。）及びコース・研究計画についての個人面接
- ・筆記試験（小論文） … 当日与えられた課題等についての論述

7. その他の留意事項

- (1) 試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (2) 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科（専門職学位課程）受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- (3) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (4) 口述試験開始時刻に遅刻した者は、それ以外の試験も含めて受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。
- (6) 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。
- (7) 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

[11月募集] 令和3年11月25日(木) 午前10時

合格発表日に本学のホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は情報提供サービスの一環として掲載するものであり、**正式には合格通知書で確認してください。**また、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

[11月募集] 令和3年12月13日(月) 郵送必着

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定)

授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定)

(注)ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

- イ. 前期分の授業料については、令和4年4月1日から令和4年4月30日までの間に納入してください。
- ウ. 上記の入学料及び授業料は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更する場合があります。
- エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

1 1. 小学校教員免許取得プログラムについて（長期在学コース）

教員免許状を所有していない入学者及び小学校（二種）、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする入学者を対象としたもので、教職に関する高度な専門知識を習得させることにより、教育実践力を持った小学校教員の養成を行うものです。

なお、入学願書にはプログラムへの申請予定の有無を必ず記載した上で、入学後に別途申請書を提出する必要がありますので、履修を計画されている場合は、あらかじめ詳細等について教務課大学院担当に確認のうえ、出願してください。

〈コースの概要〉各コースの対象者、履修方法等の概要は次のとおりです。

(1) 3年コース（修業年限3年）

対象者	履修方法	修了要件単位
<ul style="list-style-type: none">・ 小学校以外の校種の教諭の普通免許状を所有している入学者で、修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする者・ いずれかの校種の教諭の普通免許状（二種）を所有している入学者で、修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする者・ 教員免許状を所有していない入学者のうち、入学前に小学校教諭免許状取得に必要な授業科目の単位をある程度修得済みである者	1年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修し、2年次、3年次において、通常の教職開発専攻（教職大学院）の教育課程の履修を行うこととなります。	45単位以上及び小学校教員免許取得に必要な単位

(2) 4年コース（修業年限4年）

対象者	履修方法	修了要件単位
<ul style="list-style-type: none">・ 教員免許状を所有していない者（3年コース該当者を除く。）	1年次、2年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修した後、3年次、4年次において、通常の教職開発専攻（教職大学院）の教育課程の履修を行うこととなります。	45単位以上及び小学校教員免許取得に必要な単位

※ 3年コースを希望した場合でも、単位の取得状況等により4年コースとなる場合があります。

〈授業料〉

修業年限に応じた授業料を納付することとなります。

（参考例）3年コースの場合、年額535,800円×3年 = 1,607,400円

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「小学校教員免許取得プログラムへの申請予定」欄に申請予定の有無を必ず記載のうえ、入学後ただちに申請書を提出することとなります。免許状の取得状況等により、修業年限の取扱いが異なりますので、願書の記載内容に変更が生じる場合は、直ちに教務課大学院担当まで連絡してください。

1 2. 特別支援学校教員免許取得プログラムについて（長期在学コース）

小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者を対象として、3年コース「特別支援学校教員免許取得プログラム」を開設しています。この3年コースでは、1年次に特別支援学校教員免許取得に必要な授業科目を修得した後（ただし「障害児教育実習（事前・事後指導を含む）」は2年次に履修。）、2年次、3年次において、通常の教職大学院の教育課程を履修します。なお、修学期間に応じた授業料が必要です。

1 3. 長期履修学生制度について

この制度は、教職開発専攻の入学者のうち、疾病等の理由により毎日の通学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるもので、その間の授業料の年額の負担を軽減することができるものです。

〈修業年限〉

修業年限は3年又は4年とします。

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「長期履修学生制度への申請予定」欄に申請予定の有無を記載のうえ、入学後ただちに、担当教員と履修計画を立案したうえ、申請書を提出することとなります。

〈授業料〉

長期履修学生の授業料の年額は、2年間分の授業料を修業年限の年数で除した額となります。

（参考例）修業年限が3年で長期履修を許可された者の授業料の年額

$$535,800円 \times 2年 \div 3年 = 357,200円（年額）$$

※ 2年間分の授業料を3年間で分割納入することとなります。

1 4. 修了要件、履修方法等について

※「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の専門職学位課程（教職大学院）への入学を希望する者は、別紙「令和4年度奈良教育大学大学院教育学研究科 専門職学位課程（教職大学院） 学生募集要項（学外特別選抜）」を必ず確認してください。）

○専門職学位課程の修了要件の概要

教職開発専攻においては、履修規則に基づき45単位以上の単位を修得した上、2年次には学習の成果を学位研究報告書として提出することが必要となります。

なお、1年間に履修できる単位数については制限を設けており、教職開発専攻（専門職学位課程）では、38単位を上限としています。

○教育学研究科修士課程授業科目の履修について

教職開発専攻においては、教育上必要と認められる場合に限り、教育学研究科修士課程において開設されている授業科目を、授業担当教員の許可を得て、在学中に12単位まで履修することが可能です。

○学部授業科目の履修制度

小学校教員免許取得プログラムとは別の制度として、教職開発専攻においては、在学中に12単位

まで学部の授業科目を履修できる制度（科目等履修生制度）があります。

ただし、本専攻では実習を伴う科目を履修することにより実践力を培うことを目的とする、大学院正規課程での授業研究が主となりますので、この制度によって学部授業科目の履修を保証するものではありません。また、受講にあたっては、授業担当教員の承諾が必要となります。

※教育実習の履修は認めていません。

○奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者である学生等に対する教育方法の特例措置

入学時点で奈良県公立学校教員採用候補者選考試験（小学校及び特別支援学校に限る。）に合格している学生等に対し、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を設けています。この特例措置の適用を受けた場合は、修業年限2年のうち、第1年次は学業に専念し、通常の形態の授業と担当教員の指導を受け、第2年次は、教員として採用され、小学校又は特別支援学校で勤務しながら、担当教員の指導と休業期間中等の授業を受けることとなります。なお、この特例措置の適用を受けることができる者は、「一般選抜（7月募集、9月募集及び11月募集）及び特別選抜（11月募集）」による合格者となります。

申請を希望される場合は、願書に希望の有無を記入してください。（出願時点で、奈良県公立学校教員採用候補者選考試験の合否が出ていない場合は記入不要）

本特例措置については、入学当初に、指導教員の承認を得た「許可願」を提出し、許可を受けた場合に適用されます。

15. 担当教員研究分野一覧表

専攻	専任・特任	氏名	研究テーマ・研究分野
教職開発	専任	粕谷 貴志	児童生徒の心理社会的発達と適応との関連および発達を支える心理教育的援助について
		河崎 智恵	キャリア教育のプログラム開発・生活実践力の育成に関する研究
		北川 剛司	学習評価、カリキュラム、教育方法
		小崎 誠二	教育DX（GIGAスクール構想の推進／ICT活用）、教員養成
		全 有耳	障害児医学、発達障害児と家族支援、子どものメンタルヘルスと予防的アプローチ
		中井 隆司	教師の成長と授業研究、教師教育・教師の職能成長・アセスメント
		堀田 千絵	障害のある子どもの認知発達を踏まえた学習支援法の構築
		前田 康二	英語教育（英語教授法）、教師教育（教員研修）
		宮下 俊也	音楽及び芸術教科を中心とした授業実践研究
		山本 敏久	主体性を育む学習指導と評価
		吉村 雅仁	複言語能力育成のための言語教育のあり方、言語意識教育・国際理解教育
	特任	大橋 輝雄	学習意欲を高める教師のかかわりや指導の在り方について
		◎木下 理恵	児童生徒のニーズに応える特別支援学校力及び教師力の向上
		阪部 清	円滑な学校運営のためのコミュニケーションの在り方について
		廣岡 敏美	児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の在り方について
		◎吉田 誠	学習意欲の向上を図る教授法の研究
		米谷 幸	「学びに向かう力」を育てる学習指導と学級経営

◎令和4年3月退職予定の教員です。退職後は後任の教員を補充する予定です。

※上表に変更が生じた場合は、本学のホームページ（<https://www.nara-edu.ac.jp/>）で発表しますので、出願前に確認してください。

16. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生指導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL : <https://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

17. 障害等を有する志願者との事前相談について

障害等を有する志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期間

[11月募集] 令和3年9月27日（月）から令和3年9月29日（水）まで

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類（様式任意）を作成し、医師の診断書を添付して提出してください。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身大学関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身大学名
- (2) 障害等の種類、程度
- (3) 志望予定専攻、専修等
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身大学でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先の住所、電話番号等

3. 提出先 奈良教育大学入試課（〒630-8528 奈良市高畑町）

18. 過去の入試問題の閲覧について

過去3年間の入学試験問題を入試課窓口で閲覧することができます。

なお、個人への郵送は取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

〈閲覧場所〉 入試課窓口

〈時間〉 平日 9:00～17:00

19. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について

本学大学院入学後に日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する日本人学生・在日外国人学生（留学生は除く。）は、奈良教育大学のホームページにて申請方法を確認してください。

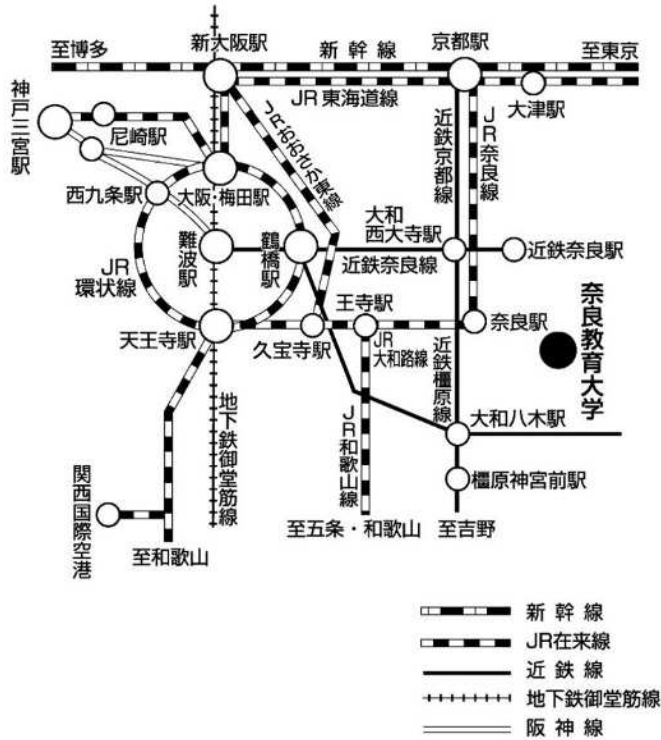
URL : https://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/health/scholarship_system.html

「日本学生支援機構奨学金予約採用（大学院）について」

【注意】 申請方法は令和3年9月からホームページに掲載の予定です。

申請受付期間は令和3年12月から令和4年1月中旬の予定です。

試験場への順路



京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪駅から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪駅から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺駅から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約33分+市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ
JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

Fax 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp